

# 多様な教育的ニーズに対応する 特別支援教育の実践

～教育の転換期における支援体制づくり～

主体的な学びをめざした「新・学習指導要領」の実施にむけた教育指導の流れの中で、発達障がいの幼児・児童・生徒への合理的配慮・支援はどうあるべきか。幼稚園の個別の指導計画の作成、小中学校での選択肢の広がる進路指導のあり方、高校にも導入される通級指導のあり方など、様々な新しい課題について議論します。

2018年  
**8月17日(金)**  
10:30～15:30(受付開始 9:45～)

定員

75名(先着順) ※定員に達し次第締め切りと致します。

参加料

5,000円 ※全体講演会または、分科会のいずれかのみ参加の場合も同一料金となります。

会場

星美学園短期大学

※昼食は各自でご用意ください。学食はございません。

本学までの  
アクセスはこちら



## 全体講演会

10:30～12:00

### 多様な教育ニーズに 対応する学校づくり

～ 特別な教育支援体制はどのようにつくっていくのか ～

講師 服部 純一

(星美学園短期大学 日伊総合研究所・客員研究員 / DRM発達支援教育研究所主宰)

特別支援教育コーディネーターの配置など、発達障がいに対する支援体制は形式的には整ってきました。しかし、個々の問題の解決はまだまだ不十分で、二次障がいに悩むケースも少なくありません。特別な教育ニーズに対応した支援体制づくりを、具体例を通して考えます。

## 分科会

13:00～15:30 定員 各25名 分科会はいずれか一つをお選びください(同時刻開催)。

分科会 1  
(幼稚園・保育所)

### 気になる子の 見立てと支援

～ 個別の指導計画の作成と運用に向けて ～

講師 遠藤 愛

(星美学園短期大学 准教授)

本分科会では、子どもの見立てに必要なポイントを押さえながら、事例について協議し個別の指導計画を作成する実践ワークを行います。ワークの後、決定した支援策を園で運用する方法について皆さんと一緒に考えます。

分科会 2  
(小学校)

### 「個」と「集団」への支援

～ 通常の学級に使える  
特別支援教育のノウハウとは? ～

講師 森澤 亮介

(筑波大学附属大塚特別支援学校・支援部)

「個」だけでなく「集団」も支えられる学級づくりに必要なことは? 教材の体験、グループでの事例検討を通して、関わりの新たな視点と一緒に見つけてみませんか。ご参加をお待ちしております。

分科会 3  
(中学・高校)

### 高校における 特別支援教育の推進

～ 通級による指導の充実に向けて ～

講師 宇田川 和久

(埼玉県立特別支援学校さいたま桜高等学園 校長)

通級による指導が実施されることにより、高校においても、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導が充実し、学力の向上はもとより不登校や中途退学などの課題解決につながっていくことが期待されています。

